

弘前大学工学部後援会報

第 9 号
 発行日 平成25年2月28日
 発行者 〒036-8561 弘前市文京町3
 弘前大学工学部後援会(理工学部内)
 印刷所 (株) 笹 軽印刷
 連絡先 中里 博 (理事・教員)
 TEL : 0172-39-3678

会長ご挨拶

弘前大学工学部 後援会
 会長 三 浦 賢 二



三年連続の雪の多い冬です。ある研究情報に少雪傾向と大雪傾向は二三年は続き十一年から十二年くらいはの周期で変動かとありました。しかし、青森の場合は平成十八年も豪雪でしたし地域性もあるようです。それにしても今回は弘前の積雪が青森県の市部で一番になったりと閉口の冬です。ま、雪はそのうち消えるのさという楽観論もあります。それが、それはさておき、当理工学部の役割・運営は初期の機能を果たしているのでしょうか。

前年度は学生諸君の研究発表が沢山あり、旅費の支援希望が予算を大幅に超え、うれしい悲鳴をあげてしまい今年度予算は増額した訳ですが、それに見合う補助申請があり喜んでいいようです。学科別では知能機械工学で発表例が多いようです。ご指導の先生方の熱意にも敬意を表する次第です。

昨夏、偶然ながら、二十一世紀教育センターの講座「社会と私」のゲストスピーカーとして学生諸君に接する機会がありました。「ブラックボックス」なるものへの対処についても話題にしたところ、予想外の反応がありました。ま、分業と協業が社会の原則です。すべてに精通するのは無理。そして専門分野以外にも関心をもつことです。妥協して？ 科学技術の成果を活用するとう割り切りが大切です。現代の最たるブラックボックスはパソコンでしょうね。でもコンピューターを専門とする方にはハッカー等にも対応できて欲しいものです。

まだまだ尾を引くあの福島第一原発の惨状と後始末ですが、政権が代わり(昨年の会報に気になることとして記しました) 第二原発や女川原発がセーフだったことへの言及があったので「おーっ」と思った私でした。長い半減期はどうにもならない放射能問題です。専門家の方々や行政当局には適切な対処法の実践に向け、知恵の結集に向けた取組に期待するのみです。ついでながら、経済も全く専門外の私ですが、えつ、アベノミクスとは何か推測してみたり・・・関心そして注視は大切なことですね。さらに蛇足ながら、最近、「地産地消」ということばをよく耳にします。インターネット記事には「治山治水」からもじられたとありました。地産地消とPPPとの関わりとかもどうなるか大変そうですが、それはそれとして、理工学部の諸君にはそれぞれの専門性追及にやはり励んでもらわなければなりません。

学生諸君が専門性を究め専門的な仕事ができるように・・・高エネルギー加速器研究、自然環境と防災工学等・・・各学科・コースの教育活動充実のための事業を応援することが当後援会の役割です。会員である保護者の皆様のご支援を結集して学生諸君の活躍、そして弘前大学工学部の更なる充実を改めて祈念いたします。



研究科長ご挨拶

大学院理工学研究科長・理工学部長

吉澤 篤



弘前大学理工学部後援会の皆様には、ますますご健勝にてご活躍のこととお喜び申し上げます。皆様には平素より理工学部・大学院理工学研究科に多大なご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。私が平成二十四年四月に理工学研究科長・理工学部長を拝命し、はや一年が経とうとしています。平成二十四年度も皆様のご支援のもと、教育・研究活動を円滑に進めることが出来ました。この場をお借りして、後援会の皆様にご挨拶を述べさせていただきます。

さて、昨今、再生エネルギーの重要性が益々高まっています。弘前大学では北日本新エネルギー研究所を青森市に創設し、エネルギー研究に力を入れております。このたび、大学院理工学研究科に新エネルギー創造工学コース（募集人員十名）の設置が認可され、平成二十五年四月から教育研究をスタートすることとなりました。本コースは北日本新エネルギー研究所所属の教員が中心となり、理工学研究科既存六コースの教員と協力して、エネルギー関係に携わる人材を育成します。例えば、青森県に豊富に存在する中低温熱資源を利用した温泉発電といった地域の特性に根ざした再生エネルギーの開発などが研究テーマとなります。

また、保護者の皆様にとりまして大きな関心事は就職状況かと存じます。平成二十三年度理工学部卒業生の場合は進学と就職を併せて進路が決まった方は九十%でした。残りの十%の方が未就職者となりますが、この中には教員採用試験あるいは公務員試験を目指した就職浪人の方も含まれます。二〇〇八年秋のいわゆるリーマンショックで企業活動が停滞し、特に昨年は日本の産業を牽引してきた電機業界が非常に厳しい状況に陥りました。「大学まで出したのに、就職できないなんて」という親御さんのお気持ちは痛いほど分かります。私たちも学内の就職支援センターと連携し、企業と学生の橋渡しに努めております。毎年二月開催される合同企業説明会では弘前にいながらにして多く企業の採用担当者個別に面談することが出来ます。今年度は理工系を中心として就職内定状況が好転しています。平成二十五年一月二十五日現在で昨年同時期と比較して十%増えています。また、理工学部の各学科に求める求人の中に学校推薦が増えてきました。弘前大学の卒業生が社会で高い評価を得ていることの証拠です。

後援会からのご支援は、学部・大学院の教育・研究を充実させるための貴重な財源となっております。特に学生の学会発表のための旅費補助、各学科で行われている会社見学等の学外研修への補助などに使用させていただき、国からの交付金が年々削減されております。また、昨年九月札幌にて保護者懇談を開催するにあたってご支援をいただきました。理工学部をより充実させていくための忌憚のないご意見やご提案をお寄せいただけますようお願いいたします。すとともに、今後とも後援会各位の変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。最後になりましたが、後援会の皆様のご健勝とご活躍をお祈りいたします。



平成24年度理工学部保護者懇談会

(札幌会場)開催のご報告

理工学部学務主任 伊東 俊 司

昨年九月二十二日(土)、北海道地区での保護者懇談会を札幌市内の「ホテルさっぽろ芸文館」にて開催させていただきました。保護者懇談会(札幌会場)の開催を無事終了できましたのも、偏に理工学部後援会会員の皆様からのご支援によるところであり、ここに感謝申し上げますとともに保護者懇談会(札幌会場)開催のご報告をさせていただきます。

保護者懇談会(札幌会場)では、百二十四名(学生数で九十四名)もの保護者の方々にご参加いただきました。札幌会場での実施も三年目を迎え、参加

者減を心配していましたが、これまでにも増して多数の参加をいただき深く感謝申し上げます。これも、保護者のみなさまのご子息を思いやる心と弘前大学への期待の表れと、参加教員一同身の引き締まる思いです。

当日は全体懇談会において、昨年度卒業・修了生の就職状況ならびに本学における就職支援について説明させていただきました。世界的な不況が続く中、理工学部・大学院理工学研究科の卒業・修了生が健闘した昨年度の実績を見ていただき、少しでも就職に対する不安を解消していただけたのではないのでしょうか。また、毎年秋に保護者のみなさまにお送りしております成績評価についても説明させていただきますました。同時に、学業不振や、休学、学業途中での退学など、様々な問題には、成績表とともにお送り致しました教務担当の連絡先にご連絡いただければ、いつでも相談に応じる体制が整えられていることなど、紹介させていただきました。

全体懇談会に引き続き、六学科に分かれての個別相談におきましても五十六件の相談をお受けし、保護者のみなさまの不安や悩みの解消に少しでもお役に立てましたら幸いに思います。ご出席いただきました保護者のみなさまからのアンケートで、札幌市内での保護者懇談会開催にたくさん感謝の言葉をいただき、平成二十四年度保護者懇談会（札幌会場）を無事終了させていただきました。これまで同様、今後とも理工学部後援会への変わらぬご理解とご支援をいただければ幸いです。

平成24年度楽しい科学・

サイエンスへの招待

楽しい科学・サイエンスへの招待は、例年、総合文化祭での理工学研究科実施事業として行われてき



た実験・実習体験型の企画です。今年度は、高校生以上を対象とするサイエンスへの招待に二十一企画、小学生以上を対象とする楽しい科学には十七企画が行われ、その内の四企画が、体験テーマ教室として実施され、多数の児童、生徒が体験されました。この企画には、後援会からの支援で多くの学部学生ならびに大学院学生に実験・実習体験の補助として協力いただいております。

平成24年度サマースクール

（北大・東北大合同宿セミナー）への学生引率

津田谷 公利

平成二十四年九月十日（月）～十三日（木）に東北大川渡共同セミナーセンター（宮城県大崎市鳴子温泉字原75）で行われた平成二十四年度サマースクール（北大・東北大合同宿セミナー）に数理科学科の二年生二名が参加しました。

この合宿は毎年九月頃に実施され、北大・東北大から数学に強い興味のある学部学生が十五人ぐらいずつ参加し総勢三十人ほどで集中的にセミナーを行うもので、今年度で七回目を迎えました。弘前大学からの参加は今回が初めてです。

教員と学習補助を行う大学院生も加わります。学生は四つのグループに分かれ、各グループ、担当教

員から指定された教科書の単元を学生同士で勉強していく、三日目の発表会で勉強の成果を披露します。参加した弘前大学の学生の感想を一部ご紹介します。

「とてもよい経験になった。レベルの高い数学に触れることでよい刺激となり、自分が今後数学を学ぶにあたってどのような態度で臨めばよいかがわかり、今後の勉強の方針が見えた。」

朝から晩まで勉強するため学生にとってはきつかったようですが、数学の知識を習得するだけでなく他大学の学生と交流を深めることができ、貴重な経験となりました。理工学部後援会に学生の交通費を援助していただき、感謝申し上げます。



平成24年度弘前大学理工学部後援会 役員等一覧

- 会長 三浦 賢二
○ 副会長 日野 了一
○ 理事 谷川 浩二 (数理科学科)
盛松 哲 (物理科学科)
岡 英世 (物質創成化学科)
小山内 幸治 (地球環境学科)
佐藤 正則 (電子情報工学科)
種市 誠 (知能機械工学科)
佐々木 一 (知能機械工学科)
日野 了一 (研究科地球環境学)
大高 正夫 (研究科電子情報工学)
・ 特別会員 福田 眞 (弘前大学大学院理工学研究科教授)
中里 博 (弘前大学大学院理工学研究科教授)
手塚 泰久 (弘前大学大学院理工学研究科准教授)
・ 賛助会員 三浦 賢二 (弘前大学文理学部昭和40年3月卒業生)
○ 監査 兜森 博道 (物質創成化学科)
奈良 昌孝 (研究科電子情報工学)
○ 顧問 吉澤 篤 (弘前大学大学院理工学研究科長・理工学部長)

(敬称略)

次いで、奈良監査から監査報告があり、の任期二年満了に伴う再任について諮られ、満場一致で再選されました。

理事会では、三浦会長、日野副会長の定例の理事会と総会がそれぞれ六月六日(水)と十月二十七日(土)に開催されました。

理工学部後援会 第9回総会 会務報告(理事会、第九回総会)

平成二十三年度決算案及び平成二十四年度事業計画と予算案について審議され、原案どおり承認されました。また、理工学部後援会の実務を円滑に進めるため後援会細則で幹事会を置くことが承認されました。総会は保護者懇談会当日(本年度は土曜日)並行して行われ、三浦会長と四月に就任されました吉澤研究科長から挨拶あり、六月の理事会で承認されました平成二十三年度決算案及び平成二十四年度事業計画と予算案について審議され、原案どおり承認されました。

平成 23 年度 弘前大学理工学部後援会決算書

Table with 3 columns: 収入 (4,856,423), 支出 (4,219,713), 繰越 (636,710)

平成 24 年 3 月 31 日 (円)

◆ 一般会計

Table with 4 columns: 収入の部 (繰越金, 会費, 繰入金, 雑入金, 合計), 決算額, 備考

Table with 4 columns: 支出の部 (教育・研究支援費, 就職対策支援費, 卒業・終了祝賀会費, 印刷費, 通信・運搬費, 会議費, 事務費, 備品・消耗品費, 振替払込料, 予備費, 合計), 決算額, 備考

Table with 3 columns: 収入 (9,889,999), 支出 (2,180,242), 繰越 (7,709,757)

(円)

◆ 特別会計

Table with 4 columns: 収入の部 (繰越金, 雑入金, 合計), 決算額, 備考

Table with 4 columns: 支出の部 (学部特別事業支援費, 繰出金, 積立金, 予備費, 合計), 決算額, 備考

平成 24 年度 弘前大学理工学部後援会予算書

平成 24 年 4 月 1 日 (円)

◆ 一般会計

Table with 4 columns: 収入の部 (繰越金, 会費, 繰入金, 雑入金, 合計), 予算額, 備考

Table with 4 columns: 支出の部 (教育・研究支援費, 就職対策支援費, 卒業・終了祝賀会費, 印刷費, 通信・運搬費, 会議費, 事務費, 備品・消耗品費, 振替払込料, 予備費, 合計), 予算額, 備考

◆ 特別会計

Table with 4 columns: 収入の部 (繰越金, 雑入金, 合計), 予算額, 備考

Table with 4 columns: 支出の部 (学部特別事業支援費, 繰出金, 積立金, 予備費, 合計), 予算額, 備考

編集後記

この冬もまた昨シーズンに続く大雪ですが、日の光の強さに春の気配が少しずつ感じられるようになってまいりました。皆様のお陰をもちまして、理工学部後援会の事業が順調に進んでいます。今年度は、新規の理事が加わり、理工学部の全学科から理事が出ることになり、バランスのとれた後援会の運営に資するものと期待されます。理事の数が、まだ会則の定めるところに達していないこともあり、引き続き会員皆様の会運営への御協力をお願い申し上げます。これからも後援会へのご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。(特別会 員理事 (教員) 中里 博)